職務経歴書

●年●月●日現在

氏名：○○　○○

■経歴要約

※学生時代の専門分野、研究内容について触れた後、これまでの企業での職務内容（対象製品、経験年数）やどんなことができるのか、簡単に記載して下さい。ボリュームとしては5行程度で問題ありません。

学生時では材料力学の研究室において○○の研究をおこなっておりました。約x年間自動車部品製造の生産技術に従事しています。エンジン部品であるシリンダーやその他エンジンの素材加工における製造ラインの管理や改善、新規ラインの立ち上げを担当。常に生産性の向上や工数の削減に努め、新規ラインの立ち上げの際には、目標の生産性をxx％上回る製造ラインの設計に成功し、コスト削減に貢献しています。

■活かせる経験・スキル・知識

※企業での経験・知識の他、ツール類等については学生時代のものも含めて記載頂いて構いません。

【習得技術・知識】

・新規製造ライン立ち上げ／工程改善

・CADを使用した治具の設計

・エンジン素材加工、エンジンのシリンダー製造ライン管理の経験

・高分子重合、低分子有機合成

・樹脂材料の知識（ＵＶ硬化樹脂）

・光学的評価、耐久性評価など各種評価技術

【使用可能装置】

Solidworks、SEM、TEM、FT-IR、NMR　GC-MS、HPLC、XRD、GPC、EPMA、DSC　・・・

■職務経歴　※経験企業毎に作成して下さい。2社以上経験されている場合は、直近の企業から記載。

●●●●年●月～現在　○○株式会社

　事業内容：

　資本金：　　　　　　　　　従業員数：

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 担当製品 | 所属・業務内容 | 使用ツール  技術知識 | メンバー／役割 |
| 0000年0月  ～  0000年0月 | PDP用電磁波シールドフィルム | ○○研究開発部　○○グループ　※所属組織も記載して下さい。  ■ディスプレイ向け光学フィルムの開発  ・配合設計および試作  ・工程設計  （プロセス検討、設備投資、設備タクト、ラインレイアウト、工数試算、治工具設計　等）  ・設備設置/量産立ち上げ（国内外）  ・稼働申請書、保全仕様書、作業指示書作成　等  ※製品の設計図や加工図、仕様書や工程手順書などの資料作成も生産技術・生産管理の重要な業務となります。  ・不具合要因の解析/特定/設計変更　など  ・品質マネジメント  （コントロールプラン、QAネット、PFMEA作成　QC工程表の作成等）  ・海外顧客への技術情報プレゼン  ※↑業務プロセスを１つ１つ箇条書きでご記入ください。  【成果/実績】 ・基剤の変更により、透過性を担保しながら従来品のコスト比15％減を達成 ・歩留まり低減の原因となっていた接着剤の塗布不良をブレード変更により、30％→5％へ低減  ※業務上の成果も具体的な数値や達成した内容を明記してアピールする事を心がけて下さい。 | IR  SEM  色度計  ウェット塗工技術  グラビアコーター | 主担当  ／4名 |
| 0000年0月  ～現在 | LCD用保護フィルム | 技術部　技術課  ■○○のプロセス改善  ・生産設備の追加導入 ・治具の設計、改善 ・自動化プロジェクトの推進 ・外観検査装 ・製造部からのヒアリング ・新設備の選定、導入  ・工程DX化の推進 ・工程、設備仕様設計・CADを使用した治具設計 ・製造マニュアルの作成、現場への指示  【実績・取り組み】  ・目標の生産性をxx％上回る製造ラインの立ち上げに成功  ・外観検査装置の導入により、属人的な目視作業をxx％削減 | 引張試験機  グラビアコーター  ホモジナイザー  ロールミル | プロセス開発担当  ／20名 |

■受講研修、学会発表など

※学会発表や特許出願、品質管理研修などの各種研修受講経験があれば記載して下さい。

＜学会発表・論文＞

　　2008年6月　「○○○の立体選択的合成」日本化学会第○○回　秋季年会

＜受講研修＞

　　2008年8月　特許研修基礎

■特許：

・（特許第XXXXXXX号）：「名称をご記入ください」

・（特許第XXXXXXX号）：「名称をご記入ください」

・（特許第XXXXXXX号）：「名称をご記入ください」

■資格・表彰など　※TOEICなども受験していらっしゃる場合は記載ください。英語力のアピールとなります。

　2010年5月　○○分野　グッドデザイン賞　受賞

　2011年7月　▽△により社長賞受賞

　2012年7月　TOEICスコア620点

■学士、修士研究概略←　転職先で活かせる研究内容、また20代・第二新卒の方は記載ください

※テーマが同一の場合はまとめて、そうでない場合は分けてまとめてください。

●●●●大学大学院●●●研究科　●●●研究室　（YYYY年MM月～YYYY年MM月）

＜研究テーマ＞

　●●●部位をコアに持つ△△の不斉合成とその評価

＜研究概要＞

　※研究の目的、実際に行った検討、実験・評価手法などを端的にご記載ください。

＜研究成果＞

■自己ＰＲ

※業務経験または研究で身に付けたビジネススキル、業務の進め方、心がけ、周囲とのやりとりにおけることや

パーソナリティなどを意識してまとめてみてください。

学生時では、●●を専門とし、●●・●●の研究・実習を行ってきたため、●●の知識があります。●●の際に●●や●●●●等に関する知識が役に立つと思われます。

現職において製品開発を進める際には●●の点を工夫し、●●を心がけたことから、●●のような成果につなげることができました。

今後は●●で身に付けた、コミュニケーションスキルを生かしながら、さまざまな分野に対して積極的に取り組んでいきたいと思います。

以上